

たんちゅう

発行日
第 96 号
62年6月号
編集発行
釧路地方腎友会
釧路市新富町一番七号
林田クリニック内



※ 目 次 ※

釧路地方腎友会の活動を会員の方で	1
釧路地方腎友会総会の報告	2 3
釧路地方腎友会新役員	4
祝電の紹介	5
四国・大窪寺を訪ねて(K・H氏)	6
編集委員雑感	7
会員の動向	8
花火のあっせんについて	8
編集後記	8

釧路地方腎友会の活動を 会員の力で

☆ 厚生省は毎年の国家予算の中で、医療費をなんとかおさえる為に様々な政策を打ち出してきました。

その中で既に 医療費一割負担を導入したのは御存じの通りです。
とりわけ、わたしたち人口透析を受けている人の数は年々増え続け、全国で77、000人以上(61年末)になってきました。10万人になるのは時間の問題なのです。

増える一方の透析医療費に対し 厚生省は 医療点数の引き下げという方策をうちだしてきています。また 透析者の治療食である食事代を有料化しようとしています。

更には、「件数払い方式」なるものを取り入れようとしているのです。

(例えば、人口透析患者一人につき一月40万円しか払わない、それ以上かかっても国では払わないという方式)

これらの政策が導入されますと医療サービスの低下はさげられないことになります。

そこで、全腎協(本部・東京)の役員さんが 厚生省まで出かけて行きそのような政策を実施しないように陳情しているのです。

会員の皆様をお願いしている国会請願署名も全腎協の役員さんが陳情するときの大切な武器となるのです。

今年一年の釧路地方腎友会の活動は、これらの事をふまえて取組まなければならぬとおもいます。今年の総会では会長一名、副会長五名が選出されました。これは、釧路地方腎友会の活動を分担し、一部に負担がかからないようにするのがねらいです。そうして活動がスムーズにいくようにしたいものです。どうか皆様の御理解と御協力をお願いします。

釧路地方腎友会総会の報告



昭和62年、5月17日(日)、午前10:00からJRホテル「ぬさまい荘」において 釧路地方腎友会総会が開催されました。

まず始めに、昨年度から 全腎協の会長を長く努められた上田 昭氏や、今年四月に亡くなられた釧路市立病院の阿部 英子さんなど 昨年からたくさんの方たちが亡くなっておられますが、その方たちの御冥福を祈って、30秒間の黙禱をささげました。

その後、上田 弘釧路地方腎友会々長の挨拶があり、その中で、厚生省(いわゆる国)が行おうとしている老人保険法の問題、児童扶養手当、更には「件数払い方式」などの問題を取り上げ、厳しい現状を話されました。また、私達透析患者のおかれている現状、患者会のありかたなど、切々と話してくださいました。

そして、最後に、10年務めた会長をやめたいと 意思表示をされました。

次に、伊藤武一道議会議員が、忙しい中かけつけてくださり、今年4月の地方選で4選を果たしたことを報告し、沢山の拍手をうけました。これから、私達釧路地方腎友会はもとより、透析患者全員の為に、活躍することを約束してくれました。

議事に入る前に、市立病院の横沢俊彦さん、協立病院の竹内昇さんのお二人に議長を引き受けていただきました。

そうして、早速、61年度活動報告、決算報告、監査報告をいたしました。

続いて、62年度活動方針案、62年度予算案と提案されました。更に、釧路地方腎友会規約改正案、通院交通費助成に関する規約改正案について提案され、質疑討論がなされました。

会費の道腎協負担が100円から200円に値上げするという案は反対意見も無く、承認されましたが、通院交通費の改正案のほうは、活発に意見がだされました。

「腎友会がもらっている会費なんだから会員のみを支給すべきだ。」「一年間、非会員の勧誘をみて、それから実施してみてもどうか」という意見に分かれ、採決をとることになり、その結果、賛成多数で原案どおりにきまりました。ここで確認されたことは、このように会員のみを支給するとしたのは非会員を突き放すのではなく、なんとか会員になってもらいたいためであるということでした。

(数日後市立病院の非会員の方5名が入会しました。)

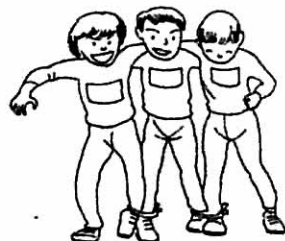
次に、役員改選に移り 事務局から

「上田 弘会長、水沢副会長のお二人が10年を節目として役員をおりたいと意志表示しておられたことから、事務局としても後任の人選をいろいろと考えて会長や副会長になってもらえないか 頼んで回ったのですが、残念ながら引き受ける方がおりませんでした。そこで、どうしたらいいか会員みなさんの意見を聞かせてほしい。」と提案がありました。

しばらく沈黙が流れてから数人の方から意見がだされました。その中で、「推薦委員会をもうけて会長を選んだらどうか」「副会長の中から会長を選んだらどうか」などの意見が出されましたが決定をみないまましばらく時が流れました。

会長がいないままでは腎友会は続けられないので、上田会長になんとかもう一年やってもらえないかと事務局から頼みました。上田さんは 始めは 断わっていたのですが、腎友会のためにもう一年やりますと、涙を流しながら引き受けてくださいました。会員みなさんも感激し、拍手を送っていました。水沢副会長も、会長の心に動かされてもう一年引き受けてくれることになりました。

こうして、予定の時間を1時間以上も過ぎてしまいましたが、意味のある総会となりました。



新年度役員を紹介します。

会 長	上田 弘	(協立)
副 会 長	水沢 秀一	(市立)
全	長岡 久雄	(日赤)
全	忠村 敏	(林田)
全	竹内 昇	(協立)
全	金井 英雄	(市立)
事務局長	橋本 巖	(林田)
会 計	対馬 美喜子	(林田)
会計担当	東 哲司	(市立)
幹 事	永田 妙子	(市立)
全	佐藤 明美	(市立)
全	桜井 久子	(市立)
全	菅田 美津子	(市立)
全	弓 一三	(林田)
全	掛札 聖	(林田)
全	大野 淳一	(林田)
全	谷田部 ゆみ子	(日赤)
全	宇井 美江	(協立)
全	波佐谷 純孝	(厚岸)
全	岡田 昌治	(根室)
会計監査	山田 幸男	(市立)
全	今井 伸子	(林田)



機関誌「たんちょう」編集委員

間瀬 八栄子	(市立)
金井 英雄	(市立)
東 哲司	(市立)
橋本 巖	(林田)
渡辺 喜久	(林田)
吉田 ミツ子	(日赤)

道腎協役員

副会長	上田 弘	(協立)
幹 事	橋本 巖	(林田)

難病連銚路支部役員

支部長	上田 弘	(協立)
幹 事	水沢 秀一	(市立)



貴会の総会開催をお祝い申し上げます。

我々腎臓病患者をとりまく環境は、公費負担の削減などにより
国の医療福祉後退はいよいよ厳しくなりつつあります。

患者が一丸となって、生命と生活を守るため、医療と福祉の後
退をくいとどめなければなりません。本日の総会が実りある成果
を生むことを祈念し、3000人の仲間を代表し協調のご挨拶を
送ります。

北海道腎臓病患者連絡協議会
会 長 岩崎 薫

62年度総会おめでとうございます。

私達腎臓病患者を取りまく 状況は
年々厳しくなっています。

全道三千人いるといわれる患者
を一同に結集し、手を取り合って
私達弱者の生活をより豊かなもの
にするため、頑張っていきましょう。

総会の成功をお祈りいたします。

札幌 腎友会
会 長 鈴木 啓三

釧路地方腎友会第11回総会を祝し、皆
様の御健勝を心からお祈り申しあげます。

網走市 オホーツク腎友会

総会開催を祝し、御盛會を祈ります。

道南腎協

釧路地方腎友会総会おめでとうございます。本日の総会に
会員皆様が結集し、実り多い盛會を祈念し、会員皆様の御
多幸をお祈りします。

十勝 地方 腎友会
会 長 新倉義太郎

定期総会の御盛會を祝し、益々のご発展をお祈り
申しあげます。

腎友会 滝川クリニック
会 長 馬飼野 秋雄



四国大窪寺を訪ねて



3月29日日曜日、この日は先週から花見に行く予定をしていた。ところが生憎と雨になった。寒さが続いたせいか桜も二分咲き、前々から行って見たいと思っていた88番札所、大窪寺へ行くことにした。娘夫婦や孫と一緒に車に乗り一時間ほどで到着した。

大窪寺とミニ88箇所をお参りした。大窪寺は四国八十八箇所最後のお寺です。お遍路さんはここで杖を納め四国霊場を無事参拝できたことを御大師さまに感謝します。この山頂には奥の院「与田寺」がある。与田寺は弘法大師が岩窟で「求聞持」の秘法を修し、自らの座像等身の薬師如来を刻んで本尊とされた。厄除けの寺として知られている。

奥の院はどんな所か行ってみることにした。880メートルと標示しており相当勾配である。普段体を鍛えていない私にはきつい行軍である。最初の200メートル位は心臓の鼓動が激しく辛かったが段々とペースをつかみ（2～3分休んではまた昇る）遂に登頂に成功した。娘夫婦は先に登っており「きとおじいちゃん登れず途中で待っているか、下山しているだろう」と思いおろしたところであった。

中腹で赤松の老木に出会った。その生きざまは教えられるところがあった。幹はかなりごつごつしているが芸術的ではない。根の生え方が何かを教えているように見える。崖の岩を幹程もある根ががっちり抱えこんでいる。すさまじいほどのたくましさだ。根の一部に登る人の階段の役割も果たしている。この姿は福沢賢治の詩にある「雨ニモ負ケズ風ニモ負ケズ」のことば通りである。こんなところで育っていかなければならない「運命を背負い」いろんな災難と戦ってきたのであろう。

私はこの老木と人生と重ね合わせて見た。根の部分は人間で言うなら人生経験、知識、人格であろう。しかし人間はその経験をこの木ほどに有弁に語れるだろうか、私も20数年腎臓病という運命を背負いながら色々な人生経験をしてきた。少しでも同じ病をもつ人の励ましになりたいと、微力ながら動いてきが、私はこの松の根のように飾らないで生き方を表現できるだろうか、無心の生き物に出合って我が身を顧みたま一時であった。

小雨が降って肌寒い天候であったが、心身ともに興奮状態にあったせいか苦にもならなかった。感動というものはあまり縁のない生活をしてきたが、久し振りによい気持ちを味わった。

(K. H 記)

『アイドル』

林田 渡辺 喜久

朝病院へ来て いつも一番先に私が、声をかける彼女がいる。

「ポチおはよう」先生の愛犬ポチ(ボロ犬)これが実にきまぐれなやつで、朝はあまり機嫌がよくない。私が声をかけると、ねそべったままで 目だけ私を見る。嬉しそうな顔は全然してくれない。でも 私は、めげずに毎朝声をかける。ポチにあいさつしないと病院に来た気がしないからだ。

これが、透析が終り 帰るころになると、コロコロと態度が変わる。玄関で靴をはいていると『ウオー』とかわいがってくれという催促の音を出している。そばに行くとき汚い体を擦り寄せてくる。実に朝の態度とはちがってかわいいやつだ。これで、また頭がいい。病院のスタッフと患者を合わせると70人以上は いる人たちの顔を全部知っている。えさをくれる人、かわいがってくれる人、その人たちに それぞれ 催促をしている。

えさをくれる人には、出すまで吠えている。ずるいやつ、みんなから おいしいものをもらいすぎで 今では デブポチである。『ポチよお前は林田病院のアイドルだよ』随分ときたないアイドルだけどね。



透析日
えさがないので
ひっそりと
ポチにかくれて
玄関入る

市立病院

東 哲司

今年度も「たんちょう」の編集委員をやる事になりました。皆さんヨロシク! 「たんちょう」はみんなの手(原稿)で作るものなので協力をお願いします。内容はどんなものでもいいです。

『みなさんヨロシク!』

市立病院

金井 英雄

新年度 たんちょう編集委員になりました。たんちょうに寄せる原稿が少なく苦慮しております。皆さんの原稿をお待ちしております。こまごまとした事でもOKです。

「皆々様へ」

市立病院 間瀬 八重子

皆々様 お変わりございませんか。その後いかがおすごしの事でしょうか。私もお陰様で今年で透析歴8年をむかえました。

長いようで短く思える歳月でした。8年前の導入時はあと5年の寿命といわれたものです。当時、私には小4と中1の子供が居りましたので、何とかこの子供達が一人だちできるまではと、いろんな事がありました。明日になれば明るい光が見える と懸命に頑張ってきたものでした。その子供達も一応親の手を借りずに歩くようになりました。

今日此の頃は、あちこち体に障害がでて来ました。診察を受けると「透析者はどうしても」という答が返ってくるのみです。このせつなさ、辛さは誰に言ってもわかってもらえず、苛立ちの日々が続いたものです。「いくら痛い、辛いと言われても変わってやる事ができない」といわれればまさにその通りで、只々耐えるのみで 暗に心との闘いでした。

今日この頃は、医学の進歩に依り 寿命は20年とか。でも 今でこの姿なんです。先の事を考えるさびしさ。安楽死 — 考えますね。そして、どうせ生きるつもり どんな末期が待っているかわかりませんが命ある限り前向きで生きようと思っています。泣いて暮らすも笑って暮らすも同じ一生、努めて笑って暮らしたいとだれかさんが言った。明るく楽しく過ごしましょうよ。タンポポの花があたり一面に咲いています。息の長い生命力のある花です。人生七転び八起きとか 私達の病もその通りで自己管理に努め与えられた一日一日を大切に生き、数多くの思出を残しましょう。

体は病んでも心は豊で健康でいたいと思う 今日この頃です。何時の日か皆々様とおあいしたいものです。では皆々様、くれぐれもお体に気をつけてお過ごしください。まずは取り急ぎ、私事のみにて失礼申します。

会員の動向

◎ 新患者

・菅原ツメ

別海町

◎ 新会員

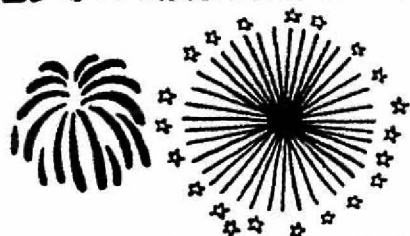
- ・ 笹本 英男・市立病院・62年4月より
- ・ 吉田 喜一・市立病院・62年4月より
- ・ 柴野ミヨ子・日赤病院・62年4月より
- ・ 久保 和子・林田クリ・62年4月より
- ・ 矢坂 輝雄・市立病院・62年5月より
- ・ 吉田 松吉・市立病院・62年5月より
- ・ 山口エミ子・市立病院・62年5月より
- ・ 田口 邦雄・市立病院・62年5月より
- ・ 田村 良穂・市立病院・62年5月より
- ・ 大森 嘉直・林田クリ・62年5月より

◎ 変更事項

- ・ 脇田久幸・日赤病院・62年5月20日死亡
- ・ 阿部英子 市立病院・62年4月23日死亡
- ・ 原 保 林田クリ・62年4月23日死亡



花火の販売始まる



毎年行っている花火の販売が始まりました。会員のみなさんはもちろん、近所の方たちにも知らせてあげてください。今年も昨年同じ値段です。市販の花火より安くなっています。各病院ごとに、3回ある締切に合わせて、とりまとめて申し込んでください。なお、現品は各病院へ直接送られますのでよろしくお願ひします。

品名及び価格

品名	販売価格
ジャンボセット	2,500 円
銀河セット(箱)	1,000 円
チャイルドセット	500 円

◎ 編集後記 ◎

62年度の「たんちょう」もなんとか発することができた。新しく編集委員になった6名が力を合わせた結果である。しかし、行するのが遅れてしまったことをお詫びいたします。編集委員それぞれが素人の集であり、気がつくことも沢山あるとおもいます。そんな時はどんどん教えてください。また、寄稿も待っています。

詩・俳句・雑感
なんでも結構です

